

49-5~52.

1974~1977

1974 ~ 1977

<昭和49年5月~52年4月>

1974	49年5月	<ul style="list-style-type: none"> ・国産電算機6社48年度売上平均30%増 ・国産電算機新シリーズ量産体制へ ・富士通と日立製作所が合併で電算機販売会社ファコム・ハイタックを設立 ・留守番電話リモコン時代幕あけ ・データ保護立法化が国会で審議 ・三菱、沖電気、超高性能電算機技術研究組合がCOSMOシリーズ発表 ・48年度通信機器生産6970億円 ・省庁間の電算機網形成へ ・FM申請拒否審査でchプランの法的根拠が争点に ・ECが日本製電卓の輸入規制延長へ ・日電東芝情報システムACOSシリーズ77公開 ・松下技研が静止画伝送走査変換管開発
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・三菱、沖電気、超高性能電算機技術研究組合がCOSMOシリーズ発表 ・48年度通信機器生産6970億円 ・省庁間の電算機網形成へ ・FM申請拒否審査でchプランの法的根拠が争点に ・ECが日本製電卓の輸入規制延長へ ・日電東芝情報システムACOSシリーズ77公開 ・松下技研が静止画伝送走査変換管開発
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・電子工業会ホーム共聴機器を蝶マーク化へ ・日本有線放送TV連盟設立 ・住友电工が双方向通信システム完成 ・IBMとアンペックスが特許侵害で和解 ・外資系電算機メーカーが値上げ攻勢 ・松下電送が中国へFAX輸出 ・工技院OCRの印字仕様をJIS化へ
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・キヤノンPPC対米輸出開始 ・通信業界民需開拓へ動く ・カシオ腕時計分野へ進出 ・ゼロックス複写機特許の公開へ
	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・日電-東芝がACOS600、700発表 ・富士電機とシーメンスが10年間の協力契約 ・富士通-日立が超大型Mシリーズ発表 ・防災行政無線が全国普及へ ・農村情報システム協定発足 ・富士通、IBM、FS開発体制強化 ・ATTのデジタルデータサービスを FCCが認可
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ッシュホン100万台突破 ・通信機生産初の1000億円台乗せ ・内外電算機メーカーが大型機攻防 ・電算機業界自社レンタル強化
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・富士通スペインに電算機生産の合併会社 ・秒速FAXを松下電送とNHKが開発 ・電総研が光ファイバー利用のコンピューターリンク試作
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・CCI、ハネウエルの提携が各国に波及 ・8ヶタ電卓底なしの価格競争
1975	50年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・富士通、日立、三菱がFS対抗機共同開発合意 ・富士通が下位電算機に比重 ・トランシーバー工業会が電子工業会に加盟 ・日米電算機会議開く ・米市場で日本製電卓盛り返す ・コムが電算機輸出を一部緩和 ・米アムダール52年から電算機自社生産へ
	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・キヤノン、レーザープリンター開発
	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・電算機の資本100%自由化スタート ・NHKミニサテ本番入り
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車電話実験段階へ ・世界初の生活情報システム多摩CCISスタート
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・VTR・CM浸透のきざし
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・日電が完全電子式FAX発売開始
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・国産電算機メーカー7社による超LSI技術研究組合設立
	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・日電が米インテルとマイコン技術交流契約
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・富士通がアムダールと合併会社設立
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・東芝が複合コンピューターネット体系完成
	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・公社、光ファイバー実用化研究に力を
	51年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ多重実用化試験放送NTVが申請
1976	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・データ通信網アーキテクチャー確立へ
	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオニアが双方向CATV商用化
	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・オフコンでリコーと日電が提携 ・日電米に全額出資の販売会社
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
	52年1月	

9月 ローランマンション完成

4月 硫子工場データベース 訳本 川上他 NEC.住友

5月 高周波回路のトラブル対策、岩田先生

6月 オーディオ回路との混同 鶴田公則

7月 硫子回路ハンドブック(1)(2)

1. 25 2-84
SPEECH RECORDER

49-5~52.4
1974~1977

44レコード TAPE は ステレオ. (マトリックス方式)

HI-FI AMP シリーズ UA200, UT220

レコード 4インチ - は 3点 セット

カセットテープレコーダー 周辺. 主に 3点 セット 12組 まとめ
UCP, UHCP シリーズ
コンパクト 12B 組 まとめ.

エバディン AHS 124. カセット テープ 付. レコードレーベル. AM/FM/ST./SW

ネットワーク. テープ型. ステレオ. 1180CP. ポート. レト. AM/FM/SW.

HI-FI シリーズ UCL ブラント 42-ト. プラト. フォレーヤー.

石油シャッフル. インフレ. 不況と戦う

6.28 8-9A

49-5~52.4

1974~1977

4 4チャンネル TAPE は ステレオ. (マトリックス方式)

HIFI·AMP シリーズ UA 200, UT 220

レコード·4チャンネル は 3点 セット

カセットテープレコーダー 周辺. 主に 3点 セット 12組 2台 合わせ

UCP, UHCP シリーズ

コンツール 12B 組 2台 合わせ.

エバディン AHS 124. カセット デッキ は, レコードレーベル. AM/FM/SW

ネットワーク. テープ型. ステレオ. 1180CP. ポート. レトロ. AM/FM/SW.

HIFI. シリーズ UCL ブラント 42-1-. プラット. フォレヤー.

石油ショット. インフレ. 不況と戦う

ネッカーマンの購入マネージャー

ネッカーマン エンジニア.



HELMFRIED CRAEMER

金 漢 煉
Purchasing Manager

NECKERMANN VERSAND KGaA.
TEL. (0611) 404413 TLX 0411938
6000 FRANKFURT / MAIN 1
HANAUER LANDSTRASSE 360-400
WEST GERMANY



HORST WEEREN
ENGINEER

TECHNISCHES LABOR FÜR WARENPRÜFUNG (TLW)
LABORATORY FOR QUALITY CONTROL (TLW)
NECKERMANN VERSAND KGAA 6 FRANKFURT/GERMANY
HANAUER LANDSTR. 360-400 TEL. 0611-404-7336 TELEX 0411938

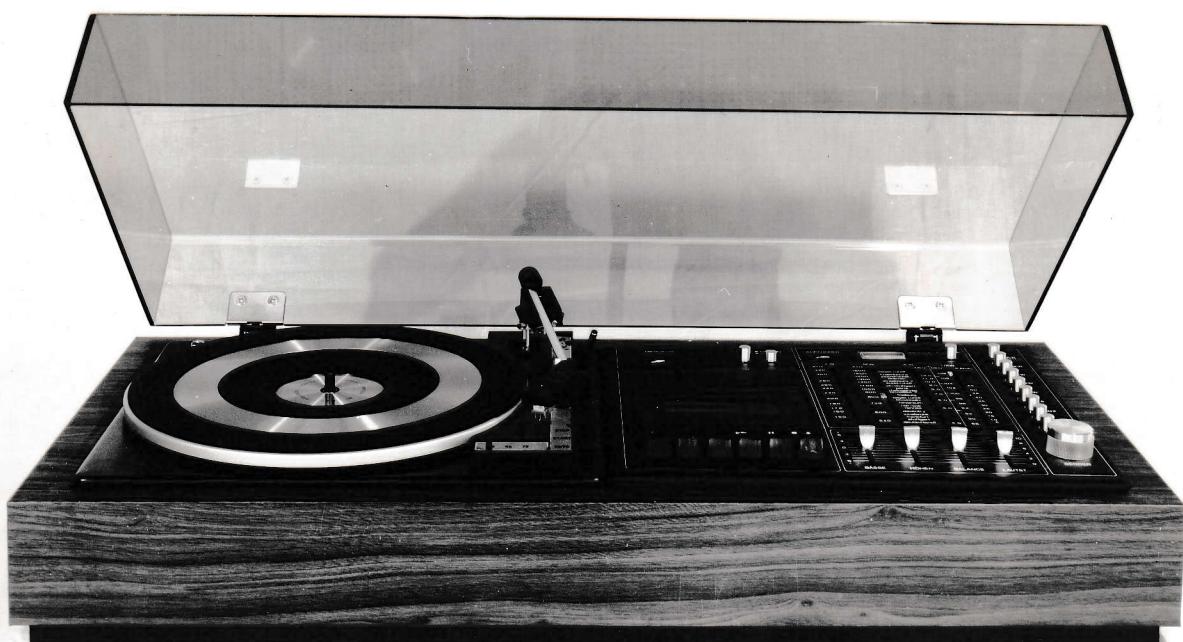


NECKERMANN VERSAND BUYING OFFICE

TSUGIO ITOH
EXECUTIVE MANAGER

EFCO KABUSHIKI KAISHA, TOKYO
HATTORI BLDG., 6, 2-CHOME, TAKARACHO, CHUO-KU TEL: 562-0661~6
TELEX: J22957 AND 2524034 CABLE: NECKERMANN TOKYO

西日本に輸入したモデル ↓



4-00-3-30
1981-1981

UCL Unitone PRODUCT GUIDE



52-5~55·4

1977~1980

1977 ~ 1980

<昭和52年5月~55年4月>

52年5月	<ul style="list-style-type: none"> 日立、高密度光ビデオディスク開発 都市難視聴対策 S H F 時代
10月	<ul style="list-style-type: none"> 放送用 V T R リンチヘリカル主流へ
11月	<ul style="list-style-type: none"> 高速 F A X ネット大規模、国際間へ動く
12月	<ul style="list-style-type: none"> 日立が漢字情報処理分野に進出
53年1月	<ul style="list-style-type: none"> 電算機各社、米国中心に世界戦略の機運 カシオ 4" を切り電卓ミリ戦争へ
2月	<ul style="list-style-type: none"> 富士通、日立世界最上位電算機 M200 発表 N H K 今秋からステレオマイクロネットへ 日電が世界最高速16ビットチップ C P U を商品化 C B 各社縮小経営で活路
3月	<ul style="list-style-type: none"> 各省庁東海・関東地震予知オンラインシステム開発に着手 超 L 組合テスター・キャン方式電子ビーム描画装置開発 九州電力が世界初の光通信実用化 音声入力実用化段階へ カシオがパーソナルコンに進出
5月	<ul style="list-style-type: none"> N H K が世界最大16" の平面カラー開発 I B M 包囲作戦に新局面
6月	<ul style="list-style-type: none"> 沖電気が初の準ミリ波帯伝送システムをオランダへ輸出
8月	<ul style="list-style-type: none"> 沖電気がメガミニに進出 自動車電話基地局免許
9月	<ul style="list-style-type: none"> カルピスなどわが国初の異機種間オンライン化 日立が M-200 、日電が A C O S 900 と超大型電算機を相次いで発表 超 L 組合非接触マスク投影転写装置を完成 東芝が国初のカナ漢字自動変換日本語 W P を開発
10月	<ul style="list-style-type: none"> 民放で V T R 一本化システム導入相次ぐ キヤノンが毎分70枚のコピー・マシン開発 日立 C O M に進出
11月	<ul style="list-style-type: none"> 民放 F M 4 局割当、全国割当へ動き始める
12月	<ul style="list-style-type: none"> 通産 F M 4 局割当、全国割当へ動き始める 電算機の O S 計画スタート
54年1月	<ul style="list-style-type: none"> I B M が F S 第一弾発表 放送大学設置大綱固まる キャブテンシステム設立認可
2月	<ul style="list-style-type: none"> 電電公社門戸開放に対抗し通信機器中小メーカーが危機突破大会開催 東芝が 64 K メモリー公開
3月	<ul style="list-style-type: none"> 第二世代のカメラ、コンピューターカメラの開発進む 通信工業会が門戸開放対策専門委設置へ
4月	<ul style="list-style-type: none"> 日立が長距離 (50km) 大容量 (1 G ビット / 秒) の光通信システム開発
5月	<ul style="list-style-type: none"> K D D が長距離用光半導体レーザー開発 W P 、和文登場で活路
6月	<ul style="list-style-type: none"> 松下電器が P P C に進出、第一弾発表 ミニコン一千億産業へ
8月	<ul style="list-style-type: none"> コードレス電話年内発売へ 三洋、シャープが F A X に進出 高速 F A X 規格決定
10月	<ul style="list-style-type: none"> タケダ理研が超 L S I テスター 100MHz 機開発 自動車電話サービススタート 横河電機中国で K O 生産開始 F M 、 P C M 回線全国開通
55年1月	<ul style="list-style-type: none"> F A X デジタル時代へ動く W P 普及本番へ
2月	<ul style="list-style-type: none"> 東京トスバック発足 低価格 F A X 販売戦激化 光通信事業ベースに
3月	<ul style="list-style-type: none"> 海事衛星利用 F A X 通信始まる A V M 免許方針決定
4月	<ul style="list-style-type: none"> 公社が長距離・大容量半導体レーザー開発 リコーがインテリジェントコピア開発 沖・ユニバックスグループが新シリーズを発表

52-5~55·4

1977~1980

7月 パソコン実践教室 楠木順次

8月 高周波基本計測 布施覚

IC 演算増幅器とその応用 氷田 猛 (日立) 2,700-

4月 パソコン回路の簡易設計 久保大次郎 (東芝)

FM 92-ナースニアル 里川晃 () ￥3,300-

8月 実用電子回路ハンドブック (3)

9月 パルストラスヒューリック 小柴典居 ￥2,900-

12月 インバーター、コンバータ、茂木晃

￥600.-

12月 ~~トランジスタ回路~~ 新しい配池 宮澤大吉

￥2,600.-

12月 電源回路の設計 マニアル、田中耕太吾

￥2,800.-

OPアンプ回路の設計 国村達也

￥1,000.-

国際化するアシテックフレンチの設計、訳本 ￥3,600.-

慶應義塾工学 訳本 コロナ社.

52-5~55・4

1977~1980

カセット3点セット等 エバデン、エンパイア-

(773) 会社創立20年の裏の年。

7月27日 UCCP 815 AS3. 8f. UHCP 2025 AFSL. UHCP 920/2580 AFSL.

フロントローデン式 カセットデッキ開発。

7816シースに使用。

S-53-3月 同内向にカラオケ3種。ステレオ1室開発。

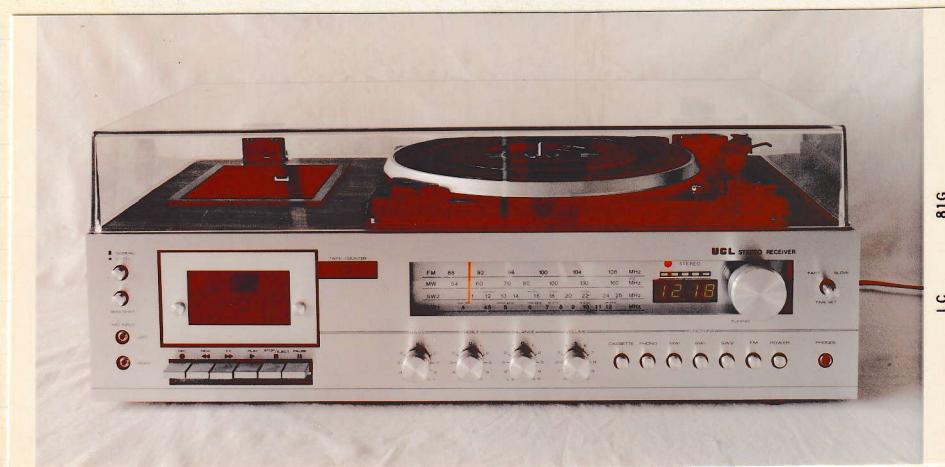
S-53-7 パート嘱託会員退職

S-53-9 製造業中止の為会社員退職

S-54. ユニオン(株)において、ビルの一部を貸す
不動産業務のかたから、ブラジルのトランシスアトラン
ティック向けに部品キットの輸出を始め
チエナー、カセットデッキなど一部加工して出荷。

勤務は週3日、月、水、金とする。

同時に日本トランシスエレクトロニクス(株)と契約して
火、木、土、は横浜工場にて技術的な
仕事をする。







国内(?) ステレオ

55-5~58・4

1980~1983

1980 ~ 1983

<昭和55年5月~58年4月>

55年5月	・富士通が米国TRW社と合弁会社設立で合意
6月	・福島、大阪に民放UHFテレビ局用周波数、金沢、愛媛、長崎に民放FM局用周波数割当 ・音声多重放送の「補完」の範囲を拡大し、解説放送も可能へ
7月	・DDXパケット交換サービス開始
8月	・郵政省衛星通信用マルチビームアンテナの開発に着手 ・CATV事業ベースへ
9月	・日本電気が世界最高速の汎用コンピューター開発 ・KDDの国際データベースサービスICASスタート ・松下電器が世界初の単板式カラーカメラ開発
10月	・世界コンピューター会議を東京で開催
11月	・自動車電話サービス大阪でも開始 ・郵政省がデータ通信標準方式を告示
12月	・電電公社が世界最小の光損失プラスチック光ケーブル開発
56年1月	・電電公社の資材調達門戸開放 ・電波技術審議会がバターン伝送方式文字放送技術基準を答申
2月	・日立が超高速汎用コンピューター開発
4月	・電子ボタン電話国内市場に登場 ・放送用VTR一体型カメラ登場
5月	・富士通が世界最大、最高速コンピューター開発 ・違法市民ラジオ掃除法成立
6月	・放送大学法案成立
7月	・産構審が8地域別産業ビジョン発表 ・緊急警報放送実験局認可
8月	・米IBMがパソコンに進出 ・ミニファックス登場
56年9月	・富士通がジョセフソンに迫る超高速素子開発 ・電電公社が米ITT、IBMと技術交換促進で合意
10月	・ファクシミリ通信サービススタート
11月	・富士通がICLとコンピューターで提携 ・通産省が情報処理サービス業の安全対策認定基準制定
12月	・コンパクトFDで松下など3社が共同規格 ・テレビ会議システム誕生
57年2月	・民放FM局大量割当を郵政省が内定
3月	・インマルサット海事衛星通信スタート
4月	・FCCがAMステレオで5方式認可 ・8MHz型と互換性ある5MHz FDD登場
7月	・日本語テレテックスもGIV FAX通信方式標準化へ
8月	・富士通がスーパーコンピューターVP200発表 ・キヤノンが20万円台のPPCを発表
9月	・日本IBMが308Xシリーズの最上位機発表 ・民放FM、22地区に割当て
10月	・MCA東京でサービス開始
11月	・民間企業初のVANサービス開始
12月	・パーソナル無線スタート ・IBMインテルに資本参加
58年1月	・MCA大阪でスタート ・富士通、光通信システムを米で生産 ・ソニーが内外21社と3.5MHz FD規格で合意 ・脱「公社」へ法体系改革を真藤総裁が強調 ・初の実用通信衛星打ち上げ ・放送大学に予免
3月	・IBMパソコン販売を開始 ・ソニーが新構造の垂直磁気記録方式を開発 ・日電が最高速のスーパーコンピューター発表 ・第1回ワープロコンテスト開催
4月	

12月 實用衛子回路ハンドブック(4)

スイッチングレギュレーターの設計法とハウ-ティベイスの
使い方 田尻司、戸川。

実用衛子回路ハンドブック(5)

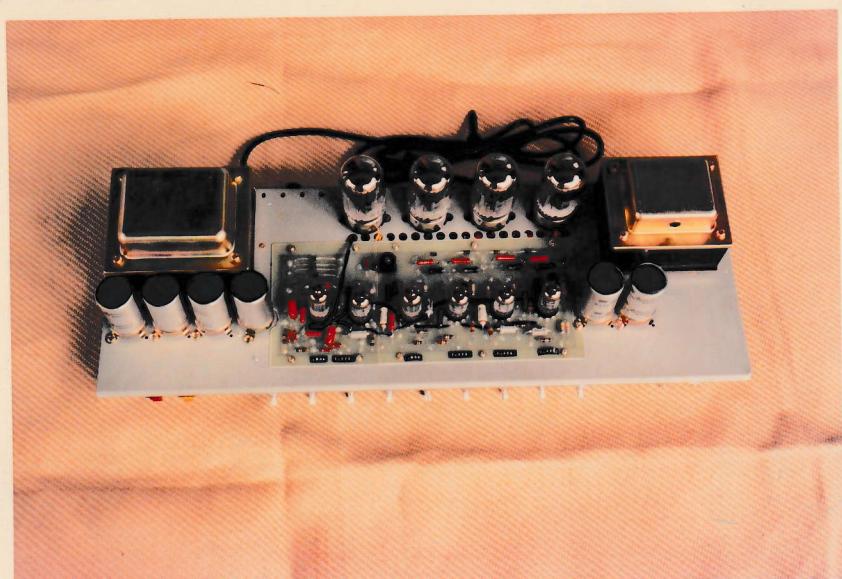
デジタルオーディオ、エモ、印賀、ソニー

1330

12月 プロトマー入門、マイコンで回路を描く

アメリカ (同) 真空管式 ギター アンプ 200W 6550 パラ ブージュル
紅大貿易 元由

設計 計作



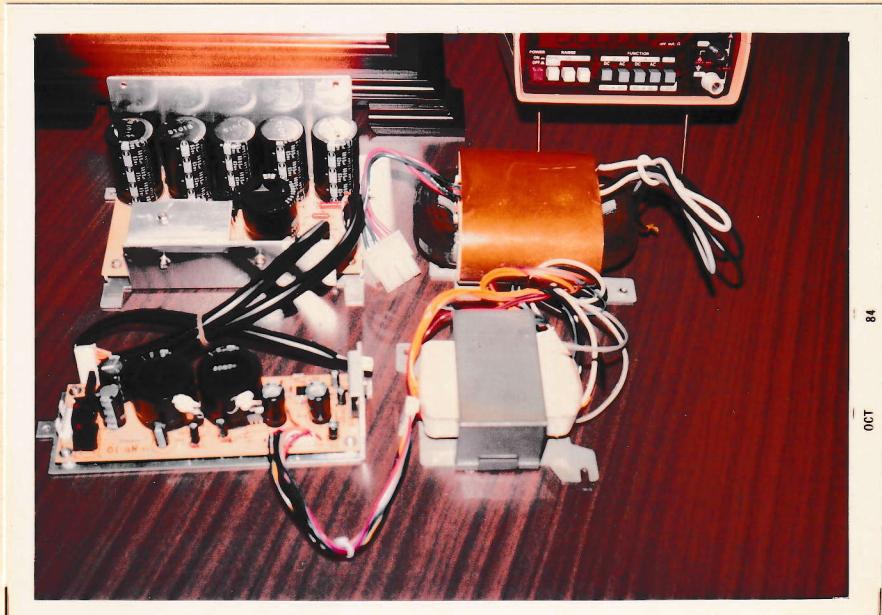
A-200-B-40

1981-1984

58-5~60·4

1983~1985

日本トレスにて、リコー、春野工場よりプリンター用電源の設計製作依頼され
LP005, LP0017, 共にトローハー式 200VA 級、と 80VA 級の 8 個



200VA

80VA

84 OCT

61-5~62·4

1986~1987

日本三次元由リコー大森及北上研究所よりトローハー電源 GRA 223859/223860
設計依頼され、約 100VA, 240 2A, 5V 0.6A. (GT617 5111)

61年未より着手 No. 5940 5460.

日本三次元由リコー大森(三田工場向) ADF コントロールユニット, 設計
8月→1月 8749 使用, 電源部付, 1部 中島オーディオ, 依頼.